

令和4年度 北九州市指定管理者の評価に関する検討会議  
(第4回)

日時：令和4年7月27日(水)  
10:00~12:00  
場所：本庁舎15階 15C会議室

≪議事次第≫

- 1 開会
- 2 議事次第説明等
- 3 修正対応についての意見

事務局：評価シートの変更点について事務局から説明する。特に評価レベルに影響がある部分を中心に説明する。

数が多いため、割り振っている番号順に説明を行う、評価シートを見ながら確認いただきたい。意見については、施設ごとに説明後に伺う。

事務局：まずは、北九州学術研究都市について、修正意見としたものは2点あった。

指定管理者の努力がわかるよう、職員の対応や警備安全の状況について、具体的数値を入れていただいた。評価レベルは変更なし。

コロナ禍でも施設稼働率が上がっている要因について、少し具体的に記載してほしいとの意見で、消毒液の配置や検温の配置など体制を整えた点を追記いただいた。評価レベルの修正はなし。

座長：修正、追記については会議で指摘したことに対応いただいている。検討会議からのコメントについて、評価は非常に適切にされておりアンケートの回収部分で少し工夫をしてくださいというコメントでよいか。

(一同異議なし)

事務局：2点目、北九州港港湾施設の説明をする。

修正意見への対応について、市と指定管理者の取組みが混同しており、指定管理者の努力が分かるようにしていただきたいと意見を出したが、従来の評価内容のまままで問題ないと返ってきている。

続いて、経費の縮減のところで、抽象的な表現が多いので具体的に評価した部分の記述をお願いしたい意見したが、すでに記載のとおり、という回答となっている。

結果的には、評価レベルの修正も内容の修正なし。

検討会議意見としては、全体的に抽象的な表現が多いため、指定管理者の改善につながるような具体的な評価をお願いしたいと意見を挙げた。

座長：もう一回、検討会として、詳しく書いていただきたい、追記していただきたいといった意見出しをするかどうか。

構成員：具体的にどういった記述がいいか提案するのは難しいので、注意するぐらいしかない。

座 長：私としては、もう一回特に詳しく書いていただきたいといった要望は要らないと考えるがよろしいか。

また、検討会議意見は、これでよろしいか。

(一同異議なし)

事務局：3点目、門司少年自然の家です。

市外学校の誘致の記述が分かりにくいという意見について、修正をしていただいた。

続いて、利用者の満足度の実績が95%と、かなり高い実績だったため、評価レベルの見直し意見について、評価レベル4から5に上げている。

経費節減については、一施設の人員数を超えて運用を図ることが出来たということで追記いただいた。

収入の評価レベル4とする根拠が弱いのではないかとの意見について、ホームページで日帰り利用の予約状況の公開といった追記をいただいたが、評価レベルも4から3に修正いただいた。

公の施設の管理運営の実施状況について、評価レベル4にする根拠が弱いのではないかという意見に対して、評価レベル3と修正いただいた。

結果的に、点数変わらず評価ランクAのままとなっている。

評価会議意見は、子供向けのアンケートについて課題になっていると指摘いただいたため、その仕組みを作るよう意見としている。

座 長：アンケートの評価が非常に高かったので、点数を4から5に上げた点は、よろしいか。

経費については、文章を少し追記いただき、評価レベル4の根拠を少し明確にさせていただいたが、よろしいか。

収入の増加について、評価レベル4が3になり、4であれば根拠をもう少し追記いただきたいという意見を踏まえて、3に変更されたよう。これもよろしいか。

管理運営について、評価レベル4が3になったが、よろしいか。

評価会議意見は、アンケートでは子どもの意見も聞いていただきたいとの意見を入れている。

(一同異議なし)

構成員：アンケートでなくてもいいので、子どもから直接の利用者の声を吸い上げる仕組みを作っていたいただきたい。

事務局：四点目は、北九州テレワークセンターです。

利用者の満足度について、アンケート項目を足していただいた。

経費の低減については、指定管理者の努力の部分が分かるよう評価の記述を修正いただいた。また、いわゆる入居率と、経費の負の相関関係を追記いただいた。

評価レベルの修正はなく、従前の84点のAから変更なし。

評価会議意見は、構成員から指摘のあった、他都市と比較した特徴的な取り組みを評価することで、北九州市のスタートアップ拠点としての優位性のPRにもつなげていただきたいということを意見としている。

構成員：入居率が上がって共益費負担が減っているから、コストが下がっているのは少し違うのではと申し上げた。その後のところで、経費、事務消耗品費とか備品が低減しているという追記もあるので、それで5として評価するのであれば異存はない。

座 長：テレワークセンターの施設の性質というか、事業内容をずいぶん変えて、実質一期目のような感じ。目標と実績がすごく離れているところも含め、担当課も一期目でどういう状況なのかを手探りで、指定管理者と色々考えながらやっているという感じ。次回から、基準が分かったと思うので、評価しやすくなるかなと思う。

事務局：この5年の取り組みを踏まえて、次の要求水準をどう設定するかチェックしたい。

座 長：検討会議のコメントも含めてよろしいか。  
(一同異議なし)

事務局：次は、旧九州鉄道本社。いわゆる九州鉄道記念館。

利用者満足度について、指定管理者の努力に依る部分とそうではない部分、スタッフの対応などを追記いただいた。

検討会議意見は、コロナ禍での影響を大きく受ける中、指定管理者が努力した部分も評価しているとしている。

座 長：利用者の満足度のところ、少し指定管理者の頑張りが分かるような具体的な記述を入れていただいた。点数は所管課からすると4のままだが、このままでよろしいか。

検討会議意見としても、適正に評価されていて、コロナがあったが、その部分についても盛り込んで評価しているというコメントでよろしいか。基本的には、特筆すべきところがない施設については、このコメントで統一するという風に進めたいがよろしいか。

(一同異議なし)

事務局：次は6番目、門司港レトロ観光9施設。

利用者の満足度について、指定管理者の頑張りをコメントとして追加いただいた。評価レベルについては特に修正はなく、検討会における意見も九州鉄道記念館と同様の意見でお返ししたい。

座 長：少し記述を具体的に追記していただいた。そのほかは、特に点数含めて変更ありません。これもよろしいか。

(一同異議なし)

事務局：7番の総合農事センター。

施設利用者数について、コロナの影響を少し分析して追加いただいた。また、SNSの記述について、評価している部分と評価していない部分の使い分けを整理していただいた。経費の支出について、コロナで出来なかった部分は、削除いただく形になっている。評価レベルの修正はなく、検討会議意見も、門司港レトロと同様としている。

座 長：農事センターはいかがか。評価しているが課題の指摘がやたらと多いところが気になった。

事務局：次に向けての期待もあるよう。ただやはりコロナの中、そこまで落ち込んでない施設で、地域に根差した取り組みをやっている印象ではある。

座 長：修正して追記いただいたところはこれでよろしいか。  
(一同異議なし)

事務局：続いて、8番目の白野江植物公園。

コロナ対策の取り組みは、3の1じゃなくて3の2で評価すべきではないかとい

う部分を修正いただいた。修正点は以上で、レベルの修正はありません。評価検討会議のコメントも、その他の集客施設と同様のコメントとしている。

座長：記述の場所を変えていただいただけなので、特に内容は変更ないということでもいいかと思うが、よろしいか。

(一同異議なし)

事務局：9番目、志井ファミリープール・アドベンチャープール。

目標値の見直しについては、見直しをできる状況ではなかったと少し丁寧に追記いただいた。

利用者の満足度について、アンケートの結果によっては5でもいいのではないかという意見に対し、スタッフの対応を追記いただき、それなりに高い数字ではあるが、目標に達していないところもあり、総合的に判断して4のまま。

収入増の取り組みは、具体的な増収の取り組みを追記いただいたが、評価レベルを4から3に見直ししている。

イベントで障害者に入らせていただく部分について、わかりやすく記述いただくのと、事故防止の安全対策で一人っ子声掛けを追記した。評価レベルはBと変わらず。検討会の意見だが、こちらも子ども向けの施設なので、子どもの声を聞く必要があると意見があったと理解しており、その部分を追記した。

構成員：浮き輪のレンタル事業の記述は、あえて二回書かれているのか。

事務局：ここは事務局も見落とししていた。施設所管課と調整させていただく。

座長：そのほかは、よろしいか。

(一同異議なし)

事務局：続いて、10番目の門司麦酒煉瓦館。

利用者の満足度のところが、満足度が非常に高く、特にスタッフのスキルが非常に高くなっているのは評価していいのではないかと意見いただき、評価レベル4を5と修正になった。

収入の増加について、少しネガティブな表現を、前向きな表現に変えていただいた。評価レベルは変更なし。

検討会のコメントも他の集客施設と同様の内容でお返ししたい。

構成員：修正されたところの「展示の陳腐化が指定管理者の責任であると言い難い」と書いてあるが、展示の陳腐化は、何を指しているのかによって、指定管理者の責任とも言えるのではないか。

事務局：展示内容は市の方で作っており、なかなか行き届いてないところを行政側の反省として書いている。レイアウトをどうするか、見せ方をどうするかは指定管理者の工夫の部分もあるので、一概に全て行政が悪いかではなく、お互い工夫する必要があると、表現していると考えている。

構成員：表現についてわかった。

事務局：この施設については、今後どのようにしていくか、今年度中に抜本的に見直すというようなことを所管課も考えている。展示も含め、今後検討していくことになるので、こうした書きぶりになっていると思う。

座長：門司麦酒煉瓦館の評価内容は、これでよろしいか。

(一同異議なし)

経営課：最後に、11、12の門司図書館と戸畑図書館。

指定管理者と中央図書館の関わりが、すこし分かりにくいとの指摘を踏まえた記述を入れていただいた。SNSも具体的に、Facebookと記述いただいた。

利用者の満足度について、無回答が母数に入っていたので、整理いただいた。

2040年問題は、具体的に何を示すのか丁寧に追記いただいた。

また、評価と直接関係ないくだりに関しては、今回全て落としていただいた。

総論のところは、こちらもいわゆる指定管理者の評価と関係ない部分の記述を落としていただいた。あと、総合評価のところ、門司図書館と戸畑図書館の両図書館の違いを表現できないかとの意見が出たが、ここは修正があっていない。前回の会議から、1週間しかなかったので、事務局の方で引き続き調整をさせていただきたい

検討会議における意見は、他の施設と同様のコメントにさせていただきたい。

座長：かなり削除いただいたり、文言修正していただいたり、他の指定管理施設とのバランスも取れたと思うが、もう少し調整していただく部分は、事務局にお任せしたい。

事務局：結果は報告させていただく。

座長：今日が最後ですので、基本的には事務局と私の方で少し調整をさせていただく。内容や結果については皆さんに報告を差しあげる。

(一同異議なし)

座長：全体を通して何かあれば、構成員の皆さんからなにかあるか。

(一同異議なし)

ヒアリングして修正等があった部分については、これで終了したい。

#### 4 ヒアリングなしの中間（条件付き）評価についての検討

構成員：顧客満足度・利用者満足度のアンケートについて、無回答を入れるか外すのか統一した方がいい。

構成員：療育センターについて、令和3年に外来相談の利用件数が大幅に増えている。外来の患者数も令和2年からすると大幅に増えているが、何で増えているかわかるか。

もしかしたら、何かすごく頑張られているのであれば、評価レベル3じゃなくもっと評価してもよいのではないか。

事務局：確認したい。

構成員：芸術劇場や北九州国際会議場に出てくる稼働率について、その稼働率の根拠（母数）が何か明示いただきたい。芸術劇場の入場率については、コロナ禍で販売できない席があるため、その中で計算したというのは、非常に良い表現。

国際展示場・会議場については、利用件数が目標700に対して実績539だが、稼働率が目標89.5に対して実績96.0となっており、目標件数は下回っているのに稼働率は上がっている。目標達成すると100を超えてくる状態になっているので、数字の所は確認いただきたい。

構成員：障害者地域活動センターについて、月平均工賃と作業費収入の令和3年度の目標が門司の方は更新前から下がっていて、戸畑と小倉南の方は、そのままになっているの

は何か意味があるか。コロナ禍だから下げたのかと思ったが、小倉南の方は一緒に、評価レベルも門司が作業収入実績達成してないが4になっており、小倉南も同じく4なので、どう評価されたかわからなかった。

事務局：おそらく、作業内容の違いからだとは思いますが、確認したい。

座長：その他、特に無いようであれば、中間評価についてはこれで終わりたい。

(一同異議なし)

事務局：確認した部分は、その結果を連絡させていただく。

## 5 その他

事務局：本日いただいた意見に対してのフィードバックは、メール等で確認いただく。修正等については、座長に相談しながら進め、評価シートを最終決定し、ホームページで公開予定としている。

## 6 閉会